

もうすぐ11月になります。葉っぱの色が赤や黄色へと美しく色付き始めました。落ち葉を拾う子どもたちも秋から冬への移り変わりを感じているようです。冬に向けて心も体も元気に過ごせるよう、かぜ予防はしっかりと行いましょう。

## インフルエンザとかぜは何が違うの？

かぜは、喉の痛み、鼻水、くしゃみ、咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。  
インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など、全身の症状が突然現れます。また、かぜと同様に、喉の痛み、鼻水、咳などの症状も見られませす。突然の高熱が出たら病院で診てもらいましょう。

### インフルエンザかも！？

- ・進行が速い
- ・38℃以上の高熱
- ・寒気が強い
- ・激しい頭痛や筋肉痛
- ・咳がたくさん出る



## 予防接種について



発症を抑え、肺炎や脳炎などの合併症を防ぐ重症化防止効果があります。ワクチンは効果を発揮するまでに約2週間かかり、半年程度効果が期待できます。急性の病気にかかっている場合や、発熱している子は予防接種を避けたほうがよいでしょう。

## インフルエンザの登園停止の日数の数え方

登園停止期間の目安（学校保健安全法施行規則第19条において）

発症した後5日を経過し、かつ、幼児にあっては解熱後3日を経過するまで

発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
発熱	解熱	×	×	×	×	登園可			
発熱	発熱	解熱	×	×	×	登園可			
発熱	発熱	発熱	解熱	×	×	×	登園可		
発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	×	×	×	登園可	
発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	×	×	×	登園可

- 解熱後3日経っていても、発症後5日経過するまでは登園停止です。
- 発症後5日経っていても、解熱後3日経過するまでは登園停止です。
- インフルエンザの恐れがある場合は、熱が37.0～37.5℃でも登園せず受診をお願いします。
- 保護者がインフルエンザの場合は、送迎を控えてください。やむを得ない場合は、必ずマスクを着用していただき、玄関の外で園児をお預かりいたします。保育園へご一報をお願いします。
- 保育園でインフルエンザが発生している期間、職員全員マスクを着用します。ご理解のほどよろしくをお願いします。





### 登園のお願い

- 発熱した時は、解熱してから12時間経過後（インフルエンザの時は別紙のとおり）
- 嘔吐した時は、24時間経過後、普段の食事が摂れる
- 下痢の時は、普通便になって普段の食事が摂れる

### お迎えのお願い

- 登園後、熱が37.5℃を超えた場合
- ①～④のいずれかの症状がでた場合

- ① 嘔吐2回
- ② 下痢2回
- ③ 嘔吐1回下痢1回
- ④ 発熱（37.5℃以上）を伴い嘔吐もしくは下痢1回

発熱後はお子さんの体力が奪われた状態です。また、嘔吐・下痢時は感染性の病気の可能性があります。無理をさせないでご自宅での療養をおすすめします。お子さんの体調がすぐれないときは、担任に相談していただけますようよろしくお願い致します。

病児・病後児保育の施設も機会があれば事前登録をおすすめします。

病児保育	・新小岩わんぱくクリニック・病児保育室わんぱく	新小岩2-1-1-3F	6231-5512
	・堀切二丁目病児保育室（佐久間レディース&ファミリアクリニック併設）	堀切2-54-16	3691-0875
病後児保育	・中青戸保育園	青戸3-8-8	3603-3485
	・本田こひつじ保育園	立石1-4-10	3692-0752



☆以前お伝えした内容と同じです。もう一度ご確認よろしくお願い致します。